

島根県学校体育研究連合会機関誌

島根の学校体育

— 第44号 —

令和4年3月

島根県学校体育研究連合会

目次

巻頭言	島根県学校体育研究連合会会長 矢田 誠 司	2
私と学校体育	浜田市立国府小学校 三浦 秀 人	3
令和3年度全国学校体育研究優良校の紹介		
「吉賀町立六日市小学校」	校長 澄川 弘 敏	4
令和3年度全国学校体育研究功労者の紹介	三浦 秀 人	5
.....	永海 和 幸	6
.....	井筒 秀 明	7
令和3年度島根県保健体育功労者の紹介		8
第56回島根県学校ダンス指導者研修会の概要	松江市立義務教育学校八束学園 花田 利 香	9
各学校体育連盟から		
(小体連)	島根県小学校体育連盟理事長 三島 康 紀	11
(中体連)	島根県中学校体育連盟理事長 柏木 裕 至	12
(高体連)	島根県高等学校体育連盟理事長 山中 清 恵	13
島根県中学校保健体育科研究会の取組	島根県中学校保健体育科研究会会長 木村 裕 幸	14
全国学校体育研究功労者表彰受賞者一覧		15
島根県保健体育功労者表彰受賞者一覧		17
全国及び島根県保健体育優良学校表彰受賞校一覧		22
島根県学校体育研究連合会規約		25
令和3年度島根県学校体育研究連合会役員		26
令和3年度島根県学校体育研究連合会事業報告		27
令和4年度島根県学校体育研究連合会事業予定		27
第61回全国学校体育研究大会(滋賀大会)要項		28
編集後記	編集委員	30

コロナ禍において求められるもの

島根県学校体育研究連合会会長 矢 田 誠 司

島根県学校体育研究連合会に加盟されている各校種団体におかれましては、日頃より学校体育の充実を通して子どもたちの体力・運動能力の向上にご尽力いただいておりますことに對し、厚くお礼申し上げます。また、今年度全国学校体育研究優良校を受賞されました吉賀町立六日市小学校様、全国学校体育研究功労者表彰を受賞されました井筒秀明様、永海和幸様、三浦秀人様には心よりお喜び申し上げます。

さて、年度が変わりましても新型コロナウイルス感染は収まらず本連盟の事業も計画通りに実施できない状況にありました。そのような中、7月30日、松江市鹿島総合体育館において第56回島根県学校ダンス指導者研修会が開催されました。当日前半は熊谷佳代先生（岐阜大学教授）と廣兼志保先生（島根大学教授）を講師としてリモートによる表現運動の実技指導を実施することができました。後半は、3名の島根県フォークダンス連盟公認指導者の先生方による実技指導を行いました。今回の研修に県内の小中学校から参加された先生方にとりまして、2学期からの指導にすぐ活用できるものであったり指導のヒントになるものであったり、大変有意義な研修会となりました。

本年度を振り返ってみますとコロナ禍における新しい生活様式が求められ、教育現場における体育的行事の自粛要請、開催規模の縮小や中止の措置がとられました。その結果、子どもたちの運動をする機会が減少し、思い切り体を動かす楽しさを感じる場がなくなってしまうしました。体育の授業においても、感染拡大防止のための対策をとりながら実施することになり、思い切り体を動かすことに加え、子どもたち同士が関わり合いながら学習をする機会が奪われてしまいました。

先頃、スポーツ庁より小学5年生と中学2年生全員が対象の2021年度全国体力テストの結果が公表されました。これによりますと、小中の男女とも体力合計点が前回2019年度と比較して下がり、体力低下が鮮明になりました。男子においては、小中ともに過去最低であったと伝えられています。スポーツ庁によると、コロナ禍で学校活動が制限されたことにより、子どもたちの運動時間が減少したことが要因だと分析しています。さらに、運動の時間が減少したことにより、子どもたちの肥満傾向に拍車がかかったとも分析しています。島根県においては、全国を上回ったものの、持久力と筋力の低下が目立ち、新型コロナウイルスの感染拡大防止に伴う休校や部活動縮小の影響が表れた結果だと捉えています。このように、コロナ禍において運動の機会が減少したことは、子どもたちの体力・運動能力だけでなく身体にも大きく影響を与えています。また、室内で過ごす時間が増えたことは、身体の成長にも少なからず悪影響を与えています。学校現場には、体育的行事の中止やガイドラインに沿った体育授業の実施が求められました。その結果、子どもたちが運動する機会が失われ、運動をする時間が減少しています。そのことにより、子どもたちの運動離れがさらに進むことが危惧されます。そうならないために、コロナ禍においても感染拡大防止に配慮した運動のやり方や運動ができる環境づくりを創意工夫して実現することが我々体育指導者に求められていると思います。「運動ができることが楽しい、体を動かすことが好きだ。」と感じる子どもたちを育成するために私たちができることをこれまで以上に追求していくことが我々の課題だと思います。

終わりにになりましたが、「島根の学校体育」44号の発刊にあたりご寄稿いただきました関係の皆様方に心より感謝申し上げますとともに、今後とも一層のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

「私と学校体育」

浜田市立国府小学校 三 浦 秀 人

この度は、全国学校体育研究功労者として表彰を賜り誠にありがとうございます。私と学校体育の歩みは、社会体育と関連したところがかなりありました。そのあたりも含め、教職38年間を振り返りつつ、私と学校体育のかかわりについて述べさせていただこうと思います。

昭和58年の島根国体開催の翌年、最初の赴任地は、旧美都町立都茂小学校でした。初任でいきなり体育主任を拝命。大学での授業や陸上で経験とは異なり、実際の現場での指導は簡単ではありませんでした。指導書や研究授業なども参考にしましたが、運動の見方を広げてくれたのは意外にも地域でのスポーツ体験でした。辞令交付の翌日に保護者から勧誘された野球に始まり、バレーボールやサッカーなどで、技能や考えるポイントを自然に学ぶことができ、授業や小体連行事の指導にも役立ちました。また、県学体連主催のダンス研修会への参加も、校内で指導する際の参考となりました。2校目の旧匹見町立三葛小学校では、授業の延長として全校児童7名で益美ダンス発表会に出場し、「雪の妖精たち」という題目で初めて発表しました。硬くなっていたのは私の方で、子ども達は、広いステージで体全体を動かして生き生きと表現しました。幅広く研修することの大切さを学びました。

地元浜田に帰り、3校目の原井小学校では、学年・学級経営と体育科経営の両立・運営をどのように進めるかを課題としました。「体育の授業を見ていれば学級経営がわかる」と言われたある校長先生の言葉を思い出します。この頃から、授業での単元構成の工夫や見通しをもった体育科経営など、人や組織を動かすことを意識するようになりました。具体的には、体育科の年間目標や重点活動の提示、職員間の役割分担の決定などです。授業では、副教材「わたしたちの体育」を活用し、オリエンテーションによる単元の見通しづくり、めあて学習や場の工夫、役割分担や励まし合い、振り返りなどを行い、目標の達成に努めました。思い通りにはならないことも多々ありましたが、子ども達の技能の向上や仲間づくり、小体連行事などでの活躍、成長につながった時は、仲間とともに喜びました。

学校体育との関連で、市内の子ども達の競技力と教員の指導力向上を目指し、平成5年に浜田ジュニア陸上教室を立ち上げました。県内大会、全国大会での活躍も含め、小学生の陸上競技の普及や指導者間のネットワーク拡大につながり、結果的に各校の教科体育や小体連行事に良い影響をもたらすことができました。県代表として出場した全国大会400mリレー決勝前の出来事でした。ウォーミングアップ会場に連れて行こうとした際、リレーメンバーの一人が、「集中したいので、静かな場所でアップをさせてください。」と、私に正対し強い意思を伝えてきました。大舞台という環境が小学生をこれほどまでに成長させるのか。子どもが発した心に突き刺さる言葉をぐっとかみしめました。

コロナ禍、東京2020オリンピックが開催され、浜田市出身の三浦龍司選手が3,000m障害で7位入賞に輝きました。くしくも三浦選手は本校（国府小学校）の卒業生であり、昨年の夏には、約340名の児童、教職員と歴史的快挙を喜び合いました。オリンピックイヤーの年に退職を迎える私にとっても記念となる出来事でした。十数年担当したジュニア陸上教室の事務局を交代する頃、あどけない少年が陸上競技場のトラックを駆け回っていました。やがて本人の才能や努力が開花。高校や大学で一流の指導とも出会い、周りの想像をはるかに超える世界で戦えるアスリートに成長しました。私は、三浦選手を直接には指導してはいませんが、教室を休まずに通い、上ヶ迫室長を中心としたスタッフの指導のもと、様々な種目に挑戦したり、仲間とともに運動そのものを純粋に楽しんだりしたことが、活躍の土台になったと思います。学校体育の面から特筆すべきは、三浦選手が小体連体操大会の特別種目（二重跳び）において大会新記録で優勝したことです。本校在学中に、学校体育でもなわとび運動に取り組んでいたと聞き、基礎体力づくりに励んでいたことがうかがえました。

ですから、今日学校教育の中身は複雑化、専門化し、様々な内容や指導が求められていますが、「体育の授業」そのものをいっそう重視していく必要があると考えます。今後も、できたことを喜び、仲間とかかわることを楽しむ運動好きな子どもを育てていくことが、学校体育の使命であると思います。

終わりにになりましたが、このような貴重な機会をいただきました島根県学校体育研究連合会の皆様、これまでご指導・ご支援を賜りました島根県教育庁保健体育課の皆様方に心より感謝申し上げます。島根の学校体育の益々の発展を祈念し、お礼の言葉といたします。

令和３年度全国学校体育研究優良校

学校名 島根県鹿足郡吉賀町立六日市小学校

所在地 〒699-5513 島根県鹿足郡吉賀町六日市858

TEL 0856-77-0038

FAX 0856-77-3074

E-mail es-roku@school.town-yoshika.ed.jp

校長名 澄 川 弘 敏

１ 研究主題

「動いて気付き 高め合い
運動の楽しさを味わう子ども」
～自ら気付き、学び合い、動きを高める
体育学習を目指して～

２ 研究の期間

平成30年度～令和２年度 ３年間

３ 研究の目的

本校は小規模校のため、単式複式をくり返す学年もあり、運動の系統性を明確にして学習する必要がある。また、新体力テストの結果から投動作に課題があり、意識調査からは児童自らが課題を把握し、解決を図っていく力が育っていないことが読み取れた。この結果から、どの児童にとっても、運動の特性に触れながら、自ら課題を見付けて考え、解決しようとする態度の育成が必要であることが明確となった。

そこで、本校では、「体づくり運動」及び「ゲーム」領域を中核として、児童が自ら動いて高め合う中で生涯にわたって運動を楽しむ態度を養いたいと考え、本主題を設定した。

４ 研究の実践内容

（１）思考力、判断力、表現力等を伴った学び合いを要する学習課題や場の設定

児童が必要感をもって意欲的に取り組めるよう、児童同士がかかわり合いながら学びを深めて技能の向上を図ることができる学習課題を設定した。また、必要感のある課題にするために、児童自身に課題を発見させる時間を確保し、児童自身がねらいをもって活動に取り組めるようにした。そして、児童一人一人が根拠をもって思考、判断、表現し、運動のポイントを理解しながら技能を高めていけるように以下の工夫を行った。

- ① ワークシートや運動のポイント提示の工夫
- ② 思考の広がりを意図したグループ設定
- ③ 実態に応じたルール of 工夫

受賞にあたって

この度は、全国学校体育研究優良校として表彰していただき、誠にありがとうございます。
本校は令和２年度開催予定であった「第17回島根県小学校体育研究大会（鹿足大会）」に向けて研究を進めてまいりました。コロナ禍にあって大会は紙上発表という形になりましたが、研究主任を中心としてモチベーションを下げることなく、全学年が授業を公開し、互いに授業を見合い研究を進めていく中で、運動の系統性を明確にして学習することや、思考力、判断力、表現力等を育むための学習課題の設定、学びの場作りなど授業づくりの要件が明らかになってきました。全教職員が共に実践から学び深めていったこの研究は、研究授業が終わった後も日々の実践に生かされています。本研究が小・極小規模の学校が多く、複式や単・複を繰り返すクラスも多い鹿足郡ならではの体育学習スタイルの確立への一助となることを願っています。本校の実践に、ご指導ご助言いただきました皆様方に感謝申しあげ、お礼のご挨拶といたします。
(校長 澄 川 弘 敏)

令和３年度全国学校体育研究功労者 紹介

み うら ひで と
三 浦 秀 人

１ 研究業績

小学校体育及びそれに関連した活動の推進者として熱心に取り組んだ。

小学校体育では、体育主任を17年間担当し、運動技能の向上、運動好きの子どもの育成を目的に、教科体育、業間体育の充実に努めた。具体的には、体育科教育の年間目標、重点とする活動計画を提示し、校内での役割分担を決め、組織的、計画的に体育科経営を進めた。授業ではオリエンテーションを大切にし、子どもに単元の見通しをもたせ、技能の習得の段階で、係毎の役割分担や互いの支え合いも大切にし、目標の達成に努めた。

小学校体育連盟主催の各行事に向けた放課後の活動を、授業との関連や指導方法の工夫、練習時間の効率化を図りながら組織的に進めた。

県主催の表現領域の研修会では、４年生の持ち込み授業を公開し、県内会員による協議を通して研鑽を深めた。また、市教育研究会保健体育部会の研修会では、陸上運動（リレー）の実践を発表したり、走り幅跳びの指導の工夫をテーマに実技研修会の講師を務めたりした。

陸上運動が全ての運動の基礎・基本であるという認識のもと、学校体育と関連した事業として、当市の子どもの競技力と教員の指導力向上を目指し、陸上教室を立ち上げた。10数年にわたり事務局を担当し、小学校の体育主任や市陸上競技協会の会員とともに県内の大会や全国大会での入賞者を多く輩出するとともに、陸上競技の普及や指導者の育成、仲間作りを中心となり進めた。

２ 学校体育研究団体における活動および役員等の略歴研究の成果

平成27年度から３年間、浜田市学校体育研究連合会会長を務めた。伝統ある浜田市創作ダンス発表会の開催に向け、島根県ダンス連盟より講師を招き、事前の夏季実技研修会を開催し、発表会に向け研鑽を深めた。各校での実践では、研修会での学びが生かされ、基本技能の活用や表現力の育成が図られた。発表会では、子どもらしい生き生

きとした動き、表情が見られた。指導講師を囲み、振り返り研修の場を設定するなど、本会の運営に尽力した。

平成30年度から浜田市教育研究会保健体育部長を務めている。市小学校体育連盟研究部とも連携し、令和４年度開催予定の中・四国小学校体育研究大会での提案発表に向け、低学年鉄棒遊び（器械・器具領域）の研究の推進を支援している。市体操連盟より講師を招聘し、鉄棒運動の逆上がりにつながる下位運動の実技研修を開催したり、市内全小学校での共通実践をサポートしたりするなど、組織を繋いだ取組を支援してきた。

平成27年度から３年間、浜田市小学校体育連盟副会長を、平成30年度から現在まで同連盟の会長を務めた。体力の向上と子ども達同士の交流拡大を目的に、当市の小学校体育の発展に寄与した。教職員の働き方改革が課題となる中、大会の輸送方法の工夫・効率化、準備にかかわる業務の平準化を進め、教職員の負担軽減化を図ってきた。令和２年度から島根県小学校体育連盟副会長に就任し学校体育の発展に努めた。

以上、長年にわたり、学校体育や関連した活動の発展に貢献した。

３ 勤続年数 37年

４ 教職の略歴

昭和59年	美濃郡美都町立都茂小学校教諭
昭和62年	美濃郡匹見町立三葛小学校教諭
平成２年	浜田市立原井小学校教諭
平成９年	浜田教育センター長期研修員
平成10年	那賀郡旭町立都川小学校教諭
平成14年	浜田市立周布小学校教諭
平成18年	益田市立鎌手小学校教頭
平成22年	浜田市立周布小学校教頭
平成25年	益田市立小野中学校校長
平成27年	浜田市立今市小学校校長
平成28年	浜田市立旭小学校校長
令和元年	浜田市立国府小学校校長

受賞にあたって

この度は、全国学校体育研究功労者として表彰を賜り、誠にありがとうございます。これまで、ご指導・ご支援をいただきました諸先輩や同僚、後輩の皆様にも深く感謝申しあげます。
「運動の魅力とは…」私の中では、子どもの「技能の向上」や「仲間との協働」、「笑顔」、「成長」というような言葉が浮かびます。これは、学校体育や社会体育に長くかかわる中で感じてきたことで、若かりし日も組織を動かす立場となった今も変わっていません。指導・支援の過程で子ども達が目標をもち、自ら動き出し、互いに協力し成果を修めた時の姿には、素敵な笑顔と確かな成長の跡がみられました。指導者同士のつながりや互いの情報交換を深めることで、市内の子ども達に好影響を及ぼした事例もありました。おわりに、島根県学校体育研究連合会の益々のご発展を祈念し、お礼の言葉といたします。
(三 浦 秀 人)

令和３年度全国学校体育研究功労者 紹介

なが み かず ゆき
永 海 和 幸

１ 研究業績

中学校の保健体育の教員として、日々の授業を大切にしてきた。体育の授業だからこそ指導ができる「規律」についてしっかり押さえた上で、生徒が楽しみながら喜びや悔しさを自然と表現し合う雰囲気 of 授業が展開されていた。また、めあてと振り返りが毎時間つながった活動となっており、授業を終えた際に、生徒が達成感を得ることができていた。

平成18年度には、宮崎県で開催された「西部地区学校体育実技指導者講習会（陸上運動）」に参加し、他県参加者とともに効果的な指導法の習得に努めた。講習会後は、県内体育教員への伝達講習を通して、陸上運動における基本技能の効果的な指導法や技術向上につながる授業展開のあり方等について伝えることにより、各校の充実した授業実践に大きく貢献した。

部活動顧問としては、長年、野球部顧問として「野球を通しての人間形成」に努めた。授業同様、部活動経営においても生徒一人一人のことを考え、それぞれに達成感や充実感を持たせながら部活動を通しての成長に結びつけた。生徒との信頼関係を築く姿は、後輩教員の手本となった。

２ 学校体育研究団体における活動および役員等の略歴・研究の成果

隠岐教育研究会「学校体育研究部員」として、体育の授業研究公開を行ってきた。また、他の部員と協力し、多くの実技研修会を計画・実践した。他方では、学校体育指導者中央研修会に参加し、研修会で学んだことを隠岐郡内の体育指導者及び、県内の体育実技研修会で伝達講習を行った。

平成20年からの5年間は、隠岐教育事務所の指導主事を務めた。管内の学校を訪問し、保健体育に関する指導・支援にあたるとともに、前回の学習指導要領改訂の周知を図った。平成25年に隠岐地区で開催された第5回島根県中学校保健体育研究会においては、「ソフトボール」を単元とした公

開授業や「全校体制による体力づくりの推進」の研究発表に向けて継続的な指導や助言に尽力した。

また、平成27年からは、隠岐教育研究会「学校体育研究部会部長」を務めた。常に隠岐島内の学校体育の課題を考え、課題の打ち手となる実践を積極的に取り入れた。まずは、体育の授業改善。若手教員に向けてより良い体育の授業の展開を目指し、公開授業を多く開催した。そして、競技の専門的な技術指導ができるよう講習会も開催し、情報交換を密にする活動を実施した。令和元年8月には、「ベースボール型授業の指導法に関する研修会」と題して、日本ソフトボール協会及び日本野球機構から講師を招いて夏季研修会を開催した。郡内の小中学校から多数の参加者があり、研修後、実際に授業に取り入れる学校もあるなど有意義な研修会であった。

一方、令和元年度からは隠岐郡中学校体育連盟会長に就任した。各校が生徒数の減少によって、部活動の運営に課題が生じる中、合同チームの編成など、競技力の向上を目指して取り組んだ。令和2年は、新型コロナウイルス感染症の流行により、大会運営が困難になったが、交流試合の計画・実施に向けて手腕を発揮した。

長年に渡り、指導者として、また指導者を育てる立場として、学校体育に果たした功績はきわめて大きい。

３ 勤続年数 33年

４ 教職の略歴

平成元年	五箇村立五箇中学校教諭
平成5年	西郷町立西郷中学校教諭
平成10年	西郷町立中村中学校教諭
平成13年	西郷町立西郷南中学校教諭
平成16年	西ノ島町立西ノ島中学校教諭
平成20年	隠岐教育事務所指導主事
平成25年	隠岐の島町立西郷南中学校教頭
平成27年	隠岐の島町立都万中学校校長
平成30年	隠岐の島町立五箇中学校校長

受賞にあたって

この度、全国学校体育研究功労者として表彰をしていただき、誠にありがとうございます。今回の受賞を大変光栄に思うとともに、これまでご指導・ご支援をいただいた先輩や同僚などの皆様に心より感謝申しあげます。

思えば新卒後、勤務させていただいた学校で先輩方から「これからの学校体育」について、多くのことを学ばせていただいたおかげで、新規採用で勤務した五箇中学校では、自信をもって体育の授業を実践できたように思います。体育における「規律」を大切にしながら、「楽しくなければ体育じゃない」をモットーに毎時間、生徒一人一人が目を輝かせながら、成就感を味わう授業づくりに取り組んできたつもりです。その後、隠岐教育事務所の指導主事として管内の学校を訪問し多くの授業を見る機会をいただくとともに、県内や中央の先進的な体育の取組に触れ、自らの体育における授業観も広がってきたように感じています。晩年にご奉仕した、隠岐教育研究会「学校体育研究部会長」及び「中体連会長」時に、今後の体育を担う若い先生方にそれらを引き渡すことができたと思っています。

最後に島根県学校体育研究連合会の益々の発展を祈念し、お礼の言葉といたします。

(永 海 和 幸)

令和３年度全国学校体育研究功労者 紹介

い づつ ひで あき
井 筒 秀 明

１ 研究業績

平成元年度、島根県に高等学校教諭として採用になり、勤務校の多くで教科主任を務めるとともに、部活動においては、その目的を生徒の人的成長において指導を行った。

平成10年度、横田高校に赴任、同年に広島県で開催された「西部地区学校体育実技指導者講習会（テニス）」に参加し、県内体育教員への伝達講習を行った。また、同年秋に実施された「雲南地区高等学校実技研修会」においては、ソフトテニスを専門競技とする県内唯一の保健体育科教員としての使命感を持ちながら、選択制体育における効果的なソフトテニスの授業展開について提案し、実技指導を行った。これにより、多くの学校において選択制体育でのソフトテニスの実施に繋がるなど、各校の充実した授業実践に大きく貢献した。平成18年度には、宮崎県で開催された「西部地区学校体育実技指導者講習会（テニス）」に参加し、他県参加者とのネットワークを構築しながら、効果的な指導法の習得に努めた。講習会後は、県内体育教員への伝達講習を通して、基本技術の効果的な指導や試合形式へとつなげる授業展開のあり方等について伝達講習を行った。

平成14年度から3年間、島根県高校総体推進室の指導主事として勤務、平成16年度、本県を主会場に開催された「全国高等学校総合体育大会（中国04総体）」の準備・運営に尽力した。

部活動では、長年ソフトテニス部の顧問として指導にあたり、多くの生徒たちを中国大会及びインターハイへ導いた。

２ 学校体育研究団体における活動および役員等の略歴研究の成果

平成20年度から3年間、島根県教育庁保健体育課の指導主事として勤務した。この間、教職員研修（体育科主任、初任者及び経験者等）の企画・運営を中心に教科指導の充実を図った。特に、在勤中は高等学校学習指導要領改訂に伴う新教育課程の年次実施を間近に控えていたこともあり、県内保健体育科教員への説明や学校現場からの質問

等にも適切に対応するなどし、新教育課程へのスムーズな移行に尽力した。また、当時の新学習指導要領は、中学校から高等学校の「指導内容の体系化」を重視したものであったことから、高等学校のみならず中学校の教育課程についても十分な理解が必要とされており、中学校において必修となった武道・ダンスに関する研究も深めながら、県下への周知に尽力した。

平成21年度、本県で開催された「第48回全国学校体育研究大会島根大会」においては、事務局の一員として開催準備及び運営に携わると同時に、大会主題である『確かな知識と技能を身につけて、学ぶ喜びが味わえる体育学習』の提案に向けて、校種間の繋がりを考慮しながら幼・小・中・高・特別支援学校の研究体制の組織づくりや、研究発表や研究協議に参加し、指導主事として指導助言を行い、裏方ながら大会を成功に導いた。

平成26年度から3年間、島根県高等学校体育連盟理事長を務めた。平成28年度に中国ブロックで開催された「全国高等学校総合体育大会（2016 情熱疾走 中国総体）」では、本県開催競技の大会準備・運営に携わると同時に、地元生徒たちによる「高校生活動地区推進委員会」を立ち上げ、PR活動や記念品作成等に取り組むなどの「支えるスポーツ」を通じて多くの高校生たちにスポーツ素晴らしさや達成感を味わわせる機会の創出に努めた。

３ 勤続年数 33年

４ 教職の略歴

平成元年	県立松江北高校通信制課程教諭
平成5年	松江市立女子高校教諭
平成10年	県立横田高校教諭
平成14年	県高校総体推進室指導主事
平成17年	県立松江南高校教諭
平成20年	県教育庁保健体育課指導主事
平成23年	県立松江南高校教諭
平成26年	県立松江商業高校教頭
平成29年	県立情報科学高校教頭
平成31年	県立隠岐島前高校校長

受賞にあたって

この度、全国学校体育研究功労者として表彰をいただきました。これまでご指導・ご支援をいただいた皆様に心より感謝申し上げます。

授業づくりを大切にし、授業を通じて生徒から信頼を得られるようになりたい、そういう気持ちは教職に就いた当初から持っていました。しかしながら、なかなか自分の思うような授業はできず、確たる自信を持ってないまま経験だけを重ねてきたようにも思います。

全国学校体育研究大会が本県で開催された際に、事務局の一員として関わらせてもらえた機会は貴重な経験となり、他校種の取組は刺激にもなりました。しかし、退職を前にして、もっとやりようはあった、もっと生徒たちの真剣な眼差しに応えることができたはずだとも率直に思います。

最後に、島根県学校体育研究連合会の益々のご発展を祈念申し上げます。(井 筒 秀 明)

令和3年度 島根県保健体育功労者紹介（敬称略）

＊校種別に50音順

おだきみひろ 小田公弘 江津市立江津東小学校	歴任校では、体育主任として児童の体力向上や教科体育の充実に向けて、「わかってできる体育の授業」を目指し、技能の向上を保障する体育授業の実践に意欲的に取り組んだ。また、指導主事として、各種研究大会においてよりよい体育授業の在り方について指導・助言を行うとともに、優れた実践例を集めたハンドブックや指導用DVDを作成し、普及啓発に努めた。
もちだけんじ 持田健司 松江市立朝酌小学校	歴任校において、児童の体力向上に取り組んだ。水泳指導では、中央研修を受けての伝達講習や、小学校体育連盟の研究授業において教師の指導力向上に向け指導助言を行うなど、児童の泳力向上に貢献した。平成28年度から仁多郡小学校体育連盟会長として研究活動を推し進め、小規模校の児童同士が交流し合いながら体力向上できるよう情報のネットワーク化を進めた。
きむらひろゆき 木村裕幸 江津市立青陵中学校	中学校の体育科教員として研鑽を積んだ。授業づくりにおいては、各領域や単元における3年生時の学びの姿を明確にし、単元計画や系統性を大切にしながら取り組んだ。また、指導主事として、学習指導要領の理解と実践を促すとともに、安全な柔道の授業づくりに向けた指導支援や、体力づくりに関する学校訪問などを精力的に行い、県内教員の資質能力向上に貢献した。
しらねせいじ 白根誠治 奥出雲町立仁多中学校	陸上競技への熱い思いを持ち、採用時から指導に携わってきた。小中学校両方の勤務において、学校体育の中で陸上競技の楽しさを伝えるよう努め、全国レベルの生徒を多く輩出した。島根県の小中学校陸上競技の競技力向上に貢献した功績は極めて大きいものがある。令和2年度からは仁多郡中学校体育連盟会長を務め、仁多郡学校体育の指導発展に貢献している。
きだよしひろ 来田良博 島根県立飯南高等学校	歴任校において、授業や部活動をととして生徒の体力・意欲の向上や競技力の向上等に取り組み、成果を上げた。体育の授業では、生涯を通じて運動・スポーツを継続できる能力の育成に主眼を置き、運動やスポーツの楽しさを味わわせる授業を工夫した。また、島根県高等学校野球連盟の普及委員として、小中学校の指導者と連携し、野球の普及活動にも尽力した。

スポーツ庁 武道等指導充実・資質向上支援事業

第56回島根県学校ダンス指導者研修会の概要

松江市立義務教育学校八束学園 花 田 利 香

1 はじめに

第56回島根県学校ダンス指導者研修会は、今年度もスポーツ庁「武道等指導充実・資質向上支援事業」の助成を受け、7月30日（金）に松江市鹿島町「松江市鹿島総合体育館」で開催された。「楽しい体育学習をもとめて」の主題のもと、県内より101名の参加者が集い、人間性豊かな子どもの育成を願い、楽しい体育の生活化を目指して、熱心に講義や実技講習を受け、資質の向上を図った。

【講師の先生】

- 熊谷佳代先生（岐阜大学 教育学部保健体育講座 教授）：オンライン参加
- 廣兼志保先生（島根大学 教育学系小学校教育専攻 教授）
- 永島愛子先生、黒見ひとみ先生、梶谷朱美先生（島根県フォークダンス連盟公認指導者）

2 研修内容

<講義・表現運動> 講師：熊谷佳代先生、廣兼志保先生

◆講義

- (1) ダンス授業のゴールの姿＝『イメージを内包したリズムカルな運動のパターン』
…「感じのある動き」「何かを感じられる動き」：ひと流れの動き・デフォルメ・メリハリ
- (2) ダンスの動き
…どんな動きも、ちょっと手を加えればダンスになる
①動き：日常動作、スポーツの動き、作業動作、遊びの動き等
②工夫：空間、時間、力、身体
- (3) 1時間の授業の流れ
導入 アイスブレイク、運動感覚、運動構成要素
展開 やってみる（教師の真似）→広げる（ペアで踊る）→深める（グループで再構成）
まとめ 今日の視点をもって見合う。確かめて実感する。
- (4) 動きの評価 …極限性・多様性・独自性
- (5) 意欲的に取り組める工夫や手立て
…導入の工夫、学習のねらいの明確化、できることから始める



◆実技研修

- (1) ウォーミングアップ
全身タッピング、股関節でお尻歩き（前後）、肩甲骨と肩ほぐし（前後、上下、広狭）とキラキラ体操、体幹ほぐし（伸縮、側屈、捻る）、四つん這い（背骨運動…大縄を回す感じで）末端から関節を動かす（指→手首→肘→肩→胸→腰→膝→足→首の順で、大きく動かす）
- (2) 『8・8・4・4・2・2・1・1・1・1』
①リズム遊び 2人組（1対1 2対2 4対4 8対8）手拍子や足踏みを組み合わせる
②ダンスウォーミングアップ
1人1つの動き作り、方向を変えて動く→動きをつなげる：2人組→4人組で向きを変える

令和3年度 島根県小学校体育連盟の活動報告

島根県小学校体育連盟理事長 三 島 康 紀

- (3) 『ジャンケンダンス』【DKW（ダンスキーワード）：身体・弾む・連続・反復】
 ゲー・チョキ・パーから動きを身近な動きに変化させ、仲間と共に音楽にのって自分たちのダンスを作って踊る。
- (4) 『ディスタンス・ダンス～いろはにほへと～』【DKW：静と動・メリハリ・ディスタンス】
 遊びから動きを発見し、仲間と共にディスタンスを意識して、自分たちのイメージで踊る。
- ①リーダーの動きをまねしながら、マーカーパッドを移動する。…4～6人組
 ②2本のゴムを二人で持ち、ゴムが作り出す空間の上中下を選択して通る。…何人でも
 ③①と②を組み合わせて、グループで表したい感じを決めて、ひとながれの動きにする。

<フォークダンス・レクダンス> 講師：永島愛子先生、黒見ひとみ先生、梶谷朱美先生

指導曲

- 1 この木なんの木 （レクダンス） 2 マイム・マイム（フォークダンス：イスラエル）
 3 ファンターナモーレ（レクダンス） 4 ハーモニカ （フォークダンス：イスラエル）
 5 祭りだ！和っしょい（レクダンス）

3 参加者の感想

- 自分自身、表現運動に苦手意識をもっていたが、日常生活の動きも表現運動に変えられるとわかり、抵抗感がなくなった。
- 身近な動きから話し合いで動きが広がり、面白く活動させてもらった。
- ジャンケンの動きやゴム飛びの動きからバリエーションを増やせるのが簡単でよかった。
- 子ども達が普段している動きや簡単なリズムでひとまとまりの動きができていて驚いた。子ども達に教えるときも、楽しみながら教えることができそう。
- リズムや音楽に合わせて体を動かすのは、とても楽しかった。ペアやグループですると、もっと刺激的で楽しめた。子ども達にもこのような気持ちで表現ダンスをしてもらいたいと強く思った。
- どのように指導すればいいか、どうしたら楽しくできるかが研修を受けて具体的にイメージできた。
- また、授業の流れや組み立て方も学ぶことができ、今後の指導で活用していきたい。
- フォークダンスも、このようにすればコロナ禍でもできると思った。



4 おわりに

昨年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期となった。今年度はwithコロナの中での研修会開催を模索し、参加者の方々が安全安心な環境で研修できるように、オンライン研修、ソーシャルディスタンスの確保、除菌や消毒の徹底等の感染拡大防止対策を行いながらの開催とした。

当日は、熊谷佳代先生にオンラインでの講義や実技研修、廣兼志保先生に会場でのコーディネートをしていただいた。始めに表現運動の意義や基本的な授業づくりについてご教示いただいた後、実際に動き作りに取り組んだ。身体表現に必要な基本的な動作を学ぶだけでなく、仲間と関わりながら活動する楽しさや協力して創り出す喜び、達成感を共有する心地よさなど、表現運動の意義を実感することができ、大変充実した研修となった。

講師の先生方をはじめ、県常任理事の皆様、また、松江市体育部表現領域担当の皆様には、本研修の企画や準備、運営のあらゆる面でご助言ご尽力いただき、心から感謝申しあげたい。

1 本県の小学校体育科教育の充実に向けて

(1) 研究部の活動

研究主題『動いて自覚し、動きの質を高め合う しまねっ子 ーなりたい姿のイメージをもち、「できそう」「できた」が連続する体育学習ー』の実現に向けて、市郡ごとに運動領域を決め、主体的に学びを深めていく子どもたちの姿を実現する授業づくりについて、研究を進めている。

今年度は市郡の研究主任の先生方と、研究主題における「なりたい姿のイメージをもつこと」にこだわって話し合いを進めてきた。その話し合いの中で、1時間ごとの授業の中でなりたい姿、単元の終盤でなっていたい姿である「ゴールイメージ」をもつことが主体的に学びを深めていく体育学習において大切になるだろうという共通認識を持つことができた。

(2) 事業部の活動

小学校体育科の授業力向上を目指して、毎年、夏季研修会を実施している。今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行った上で、7月28日（水）に夏季研修会を実施した。午前中開催ではあったが、参加者の満足度の高い研修となった。

○パネルディスカッション

「できそう できたが連続する体育の授業を構想する上で大切なこと」

松本 格之祐先生 清水 由先生

○実技研修

「ボール操作のスキルを高める運動」 客野 智先生

「器械運動の動きにつながる運動」 杠 憲司先生

(3) 編集部の活動

副読本「わたしたちの体育」を用いた授業実践を島根県小学校体育連盟のホームページに掲載して、県内の先生方に紹介している。

2 中・四国小学校体育研究大会への取組

第59回中・四国小学校体育研究大会（高知大会）

大会主題 『子どもの心に 火をつける 体育授業』

ー運動の本質的な特性や魅力に触れる楽しさを味わい、

資質・能力をバランスよく育成する指導の工夫ー

第59回中・四国小学校体育研究大会（高知大会）は県内の参加者を中心とした参会者を限定した形式で大会を実施された。開催方法の変更により、本県の提案発表は、これまでの研究の成果をまとめた映像による発表となった。本県からは、「器械運動」領域の提案発表を高橋祐也教諭（隠岐の島町立西郷小学校）が提案発表を行った。研究内容をマット運動に絞り、児童も教員も見通しをもって取り組むための授業展開の工夫、基礎感覚づくりを重視した授業の構成、ポイントチェックカードの活用による児童同士の関わり合いの工夫の3つの視点を設定して授業研究を進めることで、器械運動を好きになる児童の育成を目指した実践を紹介した。

令和３年度 島根県中学校体育連盟の活動報告

島根県中学校体育連盟理事長 柏 木 裕 至

○令和３年度の大会を振り返って

新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった昨年度の県総体でしたが、今年度については感染症対策を十分に施した上で、各主管中体連及び競技専門部のご尽力により予定していた大会をすべて開催することができました。大会開催に向けて関わっていただいたすべての方に感謝申し上げます。

さて、本連盟では、一年間に実施される各種県大会において、最も活躍した学校に岸記念賞を贈呈しています。本年度は松江市立第一中学校（４大会連続15回目）が受賞しました。また、小規模校に贈られる敢闘賞受賞校は松徳学院中学校（５年連続７回目）でした。

石見地区大会・出雲地区大会総合優勝校は、浜田市立第一中学校（７年ぶり８回目）と松江市立第一中学校（２大会連続７回目）でした。

また、８月上旬に中国五県で開催された中国中学校選手権大会では、10競技155名の選手が関東ブロックで開催される全国中学校体育大会への出場権を獲得しました。

○令和３年度全国中学校体育大会（関東ブロック開催）を終えて

８月の猛暑の中「関東の 蒼空（そら）へと放て 君の夢」を大会スローガンに掲げ、全国中学校体育大会が関東８都県を舞台に開催されました。

開催市町ごとに感染症対策が異なるため、競技によっては会場入り前に急遽PCR検査の陰性証明が必要になり、少々混乱する場面もありました。また、出場権を得ていても感染症予防のため棄権するチームや個人が相次ぐなど、異例の大会となりました。

そんな中でも、２年ぶりに開催された全中大会で本県選手の活躍は目覚ましいものがあり、多くのチーム、選手が上位入賞を果たしました。特に千葉県で開催された軟式野球大会では、大田市立第二中学校が山陰両県で初となる優勝の偉業を成し遂げました。

主な結果は次のとおり。

- ・軟式野球（千葉県千葉市他）大田市立第二中学校 優勝
- ・ホッケー（埼玉県飯能市） 奥出雲町立横田中学校 男子 第５位
奥出雲町立横田中学校 女子 第２位
- ・卓 球 （栃木県宇都宮市）松徳学院中学校 男子団体 第３位
益田市立益田中学校 女子団体 第３位
出雲北陵中学校 小野 泰和 男子シングルス 第５位
- ・柔 道 （群馬県前橋市） 松江市立第二中学校 福田さくら 女子個人57kg級 第３位
松江市立美保関中学校 永田理穂 女子個人63kg級 第５位
- ・バスケットボール（群馬県高崎市他）松徳学院中学校 女子 第５位
- ・陸上競技（茨城県ひたちなか市）出雲市立大社中学校 別所みゆ 女子100mH 第４位
- ・バドミントン（山梨県甲府市）松江市立湖南中学校 森山由惺 男子シングルス 第５位
出雲市立浜山中学校 長廻優茉 女子シングルス 第５位

令和３年度 島根県高等学校体育連盟の報告

島根県高等学校体育連盟理事長 山 中 清 恵

○今年度の取組

新型コロナウイルス感染症の影響により、昨年度実施できなかった県高校総体を、２年振りに開催できたことが、今年度の大きな取組でした。「令和３年度島根県総合体育大会実施時における新型コロナウイルス感染症拡大防止に関するガイドライン」を策定し、各専門部でも細やかに対応していただき、観客の制限等はありませんでしたが、全競技を無事に開催・終了できたことは大きな収穫でした。その他の県大会及び会議等も感染症対策を徹底し、開催できたことは、ご尽力いただいた全ての関係者の皆様の努力の賜物であると感謝しております。

しかしながら、今年度は、本来ならば「島根県高体連指導者研修会」を開催する年ではありましたが、コロナ禍の影響もあり、研修会の開催を見合わせることにしました。オンラインでの開催や人数を制限した研修会にする等、開催に向けてもっと検討すべきであったと反省しております。研修会を楽しみにしておられた方々には申し訳ない気持ちで一杯です。今後の研修会の在り方について、研修講師や内容等を含め、島根の学校体育に役立つ研修を考えていきたいと思います。

コロナの収束が見通せない状況ではありますが、今後も感染症対策を施しながら、行事を開催して行く予定です。県高体連のさまざまな取組に対して、ご尽力いただいたすべての方々に感謝申し上げ、今年度の高体連の取組報告といたします。

○各競技の大会成績

各競技の大会成績を総括すると、昨年度末３月を中心に開催された春の「全国選手権大会・選抜大会」では５競技６種目で８位以内入賞。新型コロナウイルス感染症の影響により中止された競技もありました。

夏のインターハイ「輝け君の汗と涙 北信越総体2021」では、７競技28種目で８位入賞。中でも、ホッケー競技男子の横田高校、カヌー競技男子カヤックフォア200mの島根中央高校、同じくカヌー競技女子カヤックペア500mの出雲農林高校は見事優勝を果たしました。また、28種目中16種目の入賞がカヌー競技であったということが大きな特徴でした。

秋の「第76回 国民体育大会 三重とこわか国体」は残念ながら中止となり、インターハイで活躍した選手が更なる力を発揮する、あるいは思うようなパフォーマンスが発揮できなかった３年生がリベンジしようとする場がなくなってしまいました。２年連続国体が開催されず、全国での舞台を楽しむにしていた本県高校生アスリートたちが、この悔しさを胸に今後の競技生活や学校生活に役立ててくれることを期待しています。

○今後の主な取組

現在、令和７年度中国ブロックでの全国高校総体に向けて、中国５県で連携を図りながら、各県で開催する競技種目について調整をしているところです。今後は開催市町村の決定に向けて、主管課と連携を図りながら、取り組んでいきます。

新型コロナウイルス感染症が報告されて２年が過ぎました。まだまだコロナとの闘いあるいは共存が続きますが、今後も大会等において関係されるすべての皆様が安全・安心に運営等に携わっていただけるように取り組んで参ります。また、高校生アスリートの活躍が、県民の皆様に「元気と勇気そして感動」を与えられる高体連として取り組んで参りますので、今後とも皆様の応援をよろしく願います。

島根県中学校保健体育科研究会の取組

島根県中学校保健体育科研究会会長 木 村 裕 幸

1 はじめに

本研究会は、平成21年度に本県で開催された全国学校体育研究大会（以下「全国学体研」）に向け発足した研究会です。平成21年度以降は3年ごとに研究大会開催を原則とし、平成24年度隠岐大会を初回とし、これまで7回開催してきました。そして、今年度、第8回島根県中学校保健体育科研究大会・益田大会を参加者の制限を設けてではありますが開催しました。

2 令和3年度 第8回島根県中学校保健体育科研究大会・益田大会について

本年度は研究大会を開催する年であり、益田市や鹿足郡の教育研究会中学校保健体育部会と連携しながら準備を進めました。大会は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、参加者を益田市・鹿足郡に限らせていただきました。また、日程も午前中の中みの開催とさせていただきました。

研究大会の内容は以下のとおりです。

- ・研究授業

領域・単元 球技「ネット型」 バドミントン

授業者 小原 祐二 教諭（益田市立益田中学校）
- ・授業研究

指導助言講師 沖田 憲彦 指導主事（島根県教育庁保健体育課）
- ・研究発表

研究主題 「保健授業における生徒が主体的に取り組む指導の工夫」

発表者 齋藤 正紀 教諭（吉賀町立六日市中学校）
- ・研究発表協議

指導助言講師 沖田 憲彦 指導主事（島根県教育庁保健体育課）

3 研究大会より

(1) 研究授業について

3年生の生徒がバドミントンに取り組みました。授業のねらいを「試合の動画を分析し、チームが団体戦で勝つための戦術を考えることができる」（思考力、判断力、表現力等）とし、今までの授業の様子をタブレットで見ながら、チームで戦術を練り、練習や試合に生かしていくというものでした。

研究協議では、ICTの有効活用の方法や話し合い活動の充実を教育活動全体の中でどう取り組んでいくのか。また、思考力、判断力、表現力等を身に付けさせるための知識の定着の必要性や戦術を組み立てるための技能などについても活発な意見交換がなされました。

(2) 研究発表について

今回示された学習指導要領の趣旨を生かし、保健分野の学習において、生徒が主体的に取り組むための参加型授業の実践が発表されました。具体には、生徒が得た知識をもとに問題を作成し、互いに申し合うというもので、結果、生徒同士の関わりや学習意欲に向上が見られたという内容でした。

研究協議では、指導と評価の一体化や問題作成を、思考力、判断力、表現力等を問う問題に発展させてはどうかなどの意見が出され、今後の授業改善に向け大変参考となるものでした。

4 今後について

これからの時代を生き抜く子どもたちにとって、保健体育学習はその重要性を増します。子どもたちが、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現できる力をつけていけるよう、本研究会といたしましても、今後も体育科教育推進に努めていきたいと思ひます。

全国学校体育研究功労者表彰受賞者一覧

	受 賞 者		
昭和47	辞 退		
＼ 48	佐 藤 不二男 (島大教授)	早 田 伊勢松 (松江四中校長)	小 沢 卓 (大社高校教諭)
＼ 49	藤 井 勇 (安来高広瀬分校教頭)	門 脇 秀 雄 (乃木小校長)	目 次 翠 (母衣小教諭)
＼ 50	古 沢 治 吉 (横田高校教諭)	持 田 美 徳 (佐田中校長)	
＼ 51	中 田 克 巳 (三刀屋高校教諭)	領 家 篤 (元益田東中校長)	角 森 四 郎 (川跡小校長)
＼ 52	松 崎 正 義 (仁多中校長)	松 本 博 (浜田三中校長)	松 原 アユミ (大田久利小教諭)
＼ 53	藤 井 敬 志 (高津中校長)	渡 加 忠 美 (意東小校長)	渡 部 咲 子 (松江四中教諭)
＼ 54	原 田 哲 亜 (元平田高校教諭)	西 島 正 道 (松江四中校長)	福 島 薫 (灘分小校長)
＼ 55	前 田 喬 (東出雲中校長)	大 西 暁 (松江四中校長)	松 井 初 雄 (出雲農林高校教諭)
＼ 56	永 井 康 宏 (島根大学教授)	林 正 雄 (松江工業高校教諭)	板 倉 貫 一 (北陽小校長)
＼ 57	福 田 明 正 (島根大学教授)	前 広 貞 正 (都万中校長)	福 田 弥 彦 (秋鹿小校長)
＼ 58	碓 井 エ イ (島根大学教授)	高 尾 茂 (松江南高校教諭)	高 橋 浩 (川津小校長)
＼ 59	渡 辺 晴 夫 (体育協会専務理事)	石 倉 泰 (久多美小校長)	実 重 清 次 (松江北高校教諭)
＼ 60	中 村 久左衛門 (県立体育館長)	石 川 武 義 (今市小校長)	吉 田 富士子 (元浜田商高教諭)
＼ 61	土 江 幸 弘 (出雲商高校長)	矢 野 喜 尉 (神戸川小校長)	塩 田 功 (出雲二中校長)
＼ 62	福 井 一 明 (島根大学教授)	小 玉 耕 平 (島根大学教授)	後 藤 登美子 (玉湯小教諭)
＼ 63	山 崎 忠 志 (内中原小校長)	永 井 康 隆 (松江四中校長)	山 崎 哲 朗 (石見中校長)
平成元	勝 部 嘉 巳 (法吉小校長)	真 野 治 雄 (西郷南中教頭)	石 倉 英 子 (元島大附属小教官)
＼ 2	石 倉 潔 (松江北高通信教頭)	三 浦 三 弘 (浜田一中校長)	清 水 愿 二 (松江養護学校教頭)
＼ 3	石 井 美 巳 (松江四中校長)	和 田 道 雄 (母里小校長)	池 田 亨 (津和野小校長)
＼ 4	今 岡 進 (浜田ろう学校長)	川 上 昌 雄 (長浜小校長)	和 田 美三代 (出雲三中教諭)
＼ 5	鐔 木 哲 雄 (松江高専教授)	宮 脇 幸 雄 (前隠岐島前高校長)	高 橋 邦 好 (本庄小校長)
＼ 6	織 奥 信 男 (島根大学教授)	梶 谷 忠 幸 (平田小校長)	上 田 正 吉 (青山中校長)
＼ 7	野 上 好 弘 (松江四中校長)	石 倉 誠 (松江清心養護学校長)	高 橋 庫 一 (元松江二中校長)
＼ 8	小 西 益 之 (松江工業高校教頭)	須 山 春 雄 (松江二中校長)	平 江 一 郎 (川津小校長)
＼ 9	石 原 辰 三 (松江三中校長)	須 藤 昌 幸 (三刀屋高校長)	渡 邊 悦 男 (島根大学教授)
＼ 10	多々納 崇 (江津清和養護学校長)	田 中 啓 信 (原井小校長)	門 脇 良 一 (古志原小校長)
＼ 11	佐 原 亘 (県立青少年の家所長)	石 倉 國 男 (緑が丘養護学校長)	矢 田 登志豊 (忌部小校長)
＼ 12	稲 田 保 夫 (母衣小学校長)	田 中 瑞 夫 (松江ろう学校長)	新 見 建 典 (松江第三中学校長)
＼ 13	久保田 康 毅 (島根大学教授)	荊 尾 俊 (安来高等学校長)	渡 紀 彦 (西郷中学校長)

	受 賞 者		
平成14	青 木 幸 正 (大東町立西小学校長)	久保田 稔 (島根町立島根中学校長)	生 和 忠 昭 (松江南高等学校教諭)
" 15	勝 田 治 男 (出雲市立四絡小学校長)	山 根 秀 夫 (平田市立平田中学校教諭)	和 田 智 (安来高等学校長)
" 16	小豆澤 盾 (松江市立第三中学校長)	安 部 輝 洋 (松江市立竹矢小学校長)	新 宮 和 彦 (出雲市立高松小学校長)
" 17	河 原 健 次 (松江工業高等専門学校教授)	中 西 秀 夫 (情報科学高等学校長)	中 村 幸 一 (出雲市立塩冶小学校長)
" 18	佐 藤 誠 (松江市立宍道小学校長)	山 崎 憲 一 (益松市立益田中学校長)	河 瀬 涼 三 (隠岐高等学校長)
" 19	田 川 伊智子 (松江市立中央小学校教頭)	三 成 重 雄 (平田市立平田中学校長)	月 森 宏 (松江商業高等学校長)
" 20	金 本 廣 (浜田市立第一中学校長)	岡 隆 夫 (江津市立江津中学校長)	安 部 隆 (奥出雲町立横田小学校長)
" 21	八 束 義 夫 (元大田市立鳥井小学校長)	金 子 瑞 司 (元邑南町立瑞穂中学校長)	富 田 績 (隠岐の島町立都万中学校長)
	田 中 利 徳 (島根県立江津高等学校長)		
" 22	野 津 和 夫 (松江市立母衣小学校長)	神 谷 進 (元松江市立第二中学校長)	飯 塚 修 (矢上高等学校長)
" 23	山 口 克 秀 (隠岐の島町立有木小学校長)	宮 本 輝 雄 (松江市立第二中学校長)	石 田 和 也 (松江農林高等学校長)
" 24	玉 野 桂 子 (松江市立川津小学校教頭)	宮 本 夏 子 (元松江市立鹿島中学校長)	井 上 和 朋 (平田高等学校長)
" 25	宇 野 和 福 (海士町立海士小学校長)	藤 村 昇 (松江市立八雲中学校長)	山 藤 哲 夫 (益田翔陽高等学校長)
" 26	神 門 三 郎 (松江市立玉湯小学校長)	花 原 良 治 (出雲市立第一中学校長)	高 木 弘 伸 (大社高等学校長)
" 27	檜 谷 卓 夫 (浜田市立石見小学校長)	濱 岡 繁 人 (江津市立江津中学校長)	齋 藤 隆 (前 浜田水産高等学校教諭)
" 28	青 木 敏 章 (出雲市立今市小学校長)	安 藤 賢 一 (大田市立久屋小学校長)	福 井 昭 二 (安来市立広瀬小学校長)
" 29	花 本 茂 人 (元松江清心養護学校教頭)	福 田 政 隆 (元浜田第一中学校長)	上 代 裕 一 (松江市立第二中学校長)
" 30	黒 見 ひとみ (松江市立美保関小学校教諭)	手 島 勇 人 (松江市立川津小学校教諭)	松 本 泰 治 (出雲市立北陽小学校長)
令和元	鳥 居 正 嗣 (浜田市立原井小学校長)	飯 島 仁 (邑南町立羽須美中学校長)	石 倉 一 男 (松江市立第四中学校教諭)
" 2	客 野 智 (安来市立赤江小学校長)	杠 憲 司 (安来市立荒島小学校教諭)	児 島 史 朗 (元奥出雲町立横田中学校教頭)
	梶 谷 朱 美 (島根県立大学短期大学部教授)		
" 3	三 浦 秀 人 (浜田市立国府小学校長)	永 海 和 幸 (元隠岐の島町立五箇中学校長)	井 筒 秀 明 (隠岐島前高等学校長)

島根県保健体育功労者表彰受賞者一覧

年 度	受 賞 者		
平成元	和 田 道 雄 (母里小校長)	田 中 文 雄 (安来三中教諭)	藤 原 邦 男 (鳥上小校長)
	多々納 俊 雄 (出雲三中校長)	和 田 美三代 (平田中教諭)	竹 下 貢 (邇摩中校長)
	佐々木 武兵衛 (江津中校長)	三 浦 三 弘 (浜田一中校長)	大 崎 武 晴 (原井小校長)
	的 場 幸 雄 (浜田二中校長)	寺 井 禮一郎 (飯浦小教頭)	
平成 2	恩 田 万祁男 (元十神小教頭)	大 野 隆 義 (元能義小校長)	勝 部 行 正 (広瀬中校長)
	石 倉 潔 (松江北高通信制教頭)	清 水 愿 二 (松江養護学校教頭)	石 井 美 已 (松江四中校長)
	規 家 文 雄 (津田小校長)	出 川 忠 教 (川津小教頭)	安 食 剛 (神西小校長)
	和 田 貞 夫 (出雲一中校長)	金 築 恒 治 (浜山中教頭)	川 津 郁 三 (三刀屋中教諭)
平成 3	林 勝 美 (国富小校長)	寺 戸 則 雄 (浜田四中校長)	池 田 享 (美濃小校長)
	中 井 弘 美 (広瀬中教諭)	永 井 律 夫 (朝酌小校長)	鐸 木 哲 雄 (松江高専教授)
	川 上 昌 雄 (長浜小校長)	梶 谷 忠 幸 (灘分小校長)	和 田 忠 徳 (大田一中教諭)
	花 田 光 弘 (斐川東中教諭)	中 村 勝 昌 (元阿須那小教頭)	横 田 利 彦 (元江津工高教諭)
	今 岡 進 (浜田ろう学校校長)	伴 英 嗣 (三隅中教諭)	中 山 雅 夫 (元安田小校長)
	宮 脇 幸 雄 (隠岐島前高校長)	高 梨 繁 (五箇小教諭)	
平成 4	新 井 春 杓 (出雲養護学校教諭)	石 倉 周 子 (前桧山小教諭)	上 田 正 吉 (江東中校長)
	織 奥 信 男 (島根大学教授)	栗 栖 茂 (日原中校長)	坂 本 潔 (久佐小校長)
	高 橋 邦 好 (本庄小校長)	高 橋 庫 一 (東出雲中校長)	高 橋 輝 雄 (出東小校長)
	田 中 直 治 (出雲郷小校長)	富 田 安 夫 (松江ろう学校教諭)	藤 原 洋 (三刀屋中校長)
平成 5	村 上 家 次 (中部小校長)	横 手 陽 文 (旭中校長)	和 上 辰 郎 (松江清心養護学校教諭)
	岩 本 光 正 (大社高教諭)	漆 谷 昂 (川本小校長)	鎌 田 睦 治 (富山小校長)
	小 山 英 治 (前布部中教諭)	清 水 義 人 (富山小教諭)	高 村 仁 (益田工高教諭)
	武 田 一 利 (西郷中校長)	中 川 京 佳 (大田高教諭)	永 瀬 豊 美 (木次中校長)
	野 上 好 弘 (松江四中校長)	林 惺 志 (前安来三中教諭)	福 留 実 (八束中校長)
平成 6	船 江 昭 光 (松江北高通信教諭)	三 成 由美子 (前斐川東中教諭)	宮 野 經 道 (益田東中校長)
	石 倉 誠 (松江清心養護学校長)	岩 田 道 雄 (前津和野中校長)	岩 見 裕 至 (隠岐水産高教諭)
	奥 田 利 晃 (盲学校教頭)	小 西 益 之 (松江工業高教頭)	清 水 龍 男 (松江工業高定時制教諭)
	白 根 聖 丕 (東比田小校長)	宍 道 泰 玄 (前松江商業高教諭)	須 山 春 雄 (大東中校長)
	恒 松 幹 子 (前松江四中教諭)	角 折 富 次 (加茂中校長)	野 上 公 司 (岡見中校長)
平成 6	平 江 一 郎 (川津小校長)	三 浦 敏 功 (津宮小校長)	渡 辺 悦 男 (島根大学教授)

年 度	受 賞 者		
平成 7	青 戸 宏 明 (出雲養護学校長)	石 原 辰 三 (松江三中校長)	梅 津 益 美 (浜田一中校長)
	大 塚 宗 剛 (出雲農林高教諭)	狩 野 治 子 (開星高教諭)	栗 原 重 剛 (斐川西中校長)
	小 滝 守 (浜田高教諭)	須 藤 昌 幸 (三刀屋高校長)	林 忠 (松平中校長)
	細 川 寿 雄 (益田産業高教諭)	三 浦 直 勝 (日原小校長)	南 克 巳 (浜田四中校長)
	森 節 男 (西郷中校長)	山 根 史 成 (亀高小校長)	山 根 光 玄 (前緑が丘養護学校教諭)
平成 8	青 木 誠 (出雲高教諭)	伊 藤 健 吉 (高浜小校長)	岡 坂 晴 朗 (出雲高教諭)
	岡 崎 宇 顕 (益田東中校長)	金 坂 嘉 則 (松江農林高教諭)	川 西 純 次 (美保関中校長)
	北 村 健 一 (赤江小校長)	黒 田 邦 宏 (大社高教頭)	郷 原 実 朗 (大田二中校長)
	島 田 満 徳 (益田高教諭)	高 木 俊 行 (八束小校長)	多々納 崇 (江津清和養護学校長)
	田 中 啓 信 (周布小校長)	錦 織 昭 十 四 (大田高教諭)	樋 野 俊 晴 (松江東高教諭)
	前 田 清 (浦郷小校長)	山 根 勇 (福浦小校長)	
平成 9	石 倉 國 男 (緑が丘養護学校長)	石 飛 智 啓 (四絡小校長)	井 山 勝 子 (玉湯小教諭)
	大 森 岳 (比田中校長)	梶 谷 和 正 (松江清心養護学校教諭)	梶 谷 宣 生 (平田中教頭)
	門 脇 良 一 (古志原小校長)	加 納 甫 (本庄中教諭)	河 原 良 雄 (江津高教諭)
	斎 藤 元 紹 (美都中教諭)	園 山 哲 也 (松江工業高教諭)	田 中 由 紀 子 (前浜田ろう学校教諭)
	秦 康 男 (三刀屋高教諭)	三 原 博 昭 (出雲商業高教諭)	安 井 清 三 (斐川東中校長)
	矢 田 登 志 豊 (忌部小校長)		
平成10	泉 昭 信 (三刀屋中校長)	稲 田 保 夫 (母衣小校長)	今 岡 辰 夫 (緑が丘養護学校教諭)
	井 山 充 弘 (盲学校教諭)	大 内 紀 雄 (清心養護学校教諭)	鹿 島 浩 二 (松江北高教諭)
	勝 部 治 久 (松江東高教諭)	神 田 茂 (清心養護学校教頭)	桜 内 和 子 (盲学校教諭)
	佐 原 亘 (青少年の家所長)	柴 田 秀 次 郎 (弥栄中校長)	曾 田 義 治 (出雲商業高教諭)
	寺 井 良 仁 (美都中教諭)	中 島 敏 雄 (松江商業高教諭)	矢 田 和 子 (松江西高教諭)
	渡 部 勲 (野波中教頭)		
平成11	大 野 典 子 (大田高教諭)	落 合 祥 成 (出雲西高教諭)	嘉 儀 裕 行 (今市小校長)
	荊 尾 俊 (安来高校長)	川 上 祐 司 (大社中校長)	河 野 好 政 (浜田第二中校長)
	曾 田 修 二 (旭丘中校長)	田 中 久 隆 (加茂中校長)	田 中 瑞 夫 (松江ろう学校長)
	中 村 嘉 孝 (西郷南中校長)	新 見 建 典 (松江第三中校長)	林 正 (出東小校長)
	布 野 伸 一 郎 (高山小校長)	脇 田 濟 (松江清心養護学校長)	渡 利 哲 彦 (川本中校長)
平成12	阿知波 武 雄 (益田中学校長)	石 橋 宣 治 (松江商業高校教諭)	石 原 親 二 (松江工業高校教頭)
	石原房美(故人) (前野波中学校長)	井 上 武 志 (高松小学校長)	久保田 康 毅 (島根大学教授)
	坂 本 和 正 (久野中学校長)	曾 田 伸 子 (出雲高校教諭)	多久和 隆 夫 (佐香中学校長)
	辻 井 宏 (河南中学校長)	土 谷 武 盛 (大東高校教頭)	原 洋 二 (緑が丘養護学校教頭)
	山 口 盛 夫 (隠岐養護学校長)	山 根 秀 夫 (平田中学校教諭)	渡 紀 彦 (西郷中学校長)

年 度	受 賞 者		
平成13	青 木 幸 正 (大東町立西小学校長)	嵐 直 子 (松江緑が丘養護学校教諭)	久保田 稔 (島根町立島根中学校長)
	高 佐 康 格 (浜田市立第一中学校長)	田 中 健 久 (松江市立女子高校教諭)	泊 泰 三 (松江養護学校教諭)
	生 和 忠 昭 (松江南高校教諭)	藤 原 忠 男 (盲学校教頭)	三 代 儔 (前鹿島町立東小学校教諭)
	目 次 健 司 (安来高校教諭)	渡 部 健 人 (浜田高校定時制教諭)	
平成14	小豆澤 盾 (掛合町立掛合中学校長)	岩 成 潔 (平田高等学校教諭)	内 田 俊 夫 (松江市立川津小学校長)
	梅 木 敏 (前大社高等学校教諭)	勝 田 治 男 (出雲市立四絡小学校長)	金 築 健 二 (平田高等学校教諭)
	河 原 健 次 (松江工業高等専門学校教授)	新 宮 和 彦 (出雲市立高松小学校長)	中 西 秀 夫 (松江北高等学校教頭)
	野 村 善 昭 (出雲工業高等学校教諭)	三 澤 能 喜 (江津工業高等学校教諭)	三 島 正 彦 (松江ろう学校教諭)
	吉 廣 静 二 (出雲市立今市小学校長)	和 田 惇 子 (益田養護学校長)	和 田 智 (安来高等学校長)
平成15	安 部 輝 洋 (松江市立竹矢小学校長)	片 岡 功 次 (浜田商業高等学校教諭)	河 瀬 涼 三 (隠岐高等学校長)
	特 留 大 誓 (仁摩町立仁摩中学校長)	澤 江 佑 三 (松江南高等学校宍道分校教頭)	柳 楽 桂 子 (平田市立灘分小学校長)
	福 田 省 二 (飯南高等学校教諭)	右 田 耕 一 (情報科学高等学校教諭)	山 田 潔 (前松江市立本庄中学校長)
	吉 田 敏 紀 (益田市立小野中学校長)		
平成16	小 川 博 睦 (温泉津町立温泉津中学校長)	佐 藤 誠 (東出雲町立揖屋小学校長)	中 村 幸 一 (出雲市立高浜小学校長)
	山 崎 憲 一 (益田市立益田中学校長)		
平成17	高 祖 嘉 秀 (益田市立中西中学校教諭)	田 川 伊 智 子 (松江市立中央小学校教頭)	竹 田 克 己 (松江南高校宍道分校教諭)
	佃 稔 (海士町立海士中学校長)	塔 村 昌 夫 (出雲高等学校教諭)	豊 田 嘉 男 (津和野高等学校教諭)
	中 田 充 繁 (松江市立第四中学校長)	松 本 弘 光 (松江ろう学校長)	吉 野 二 郎 (川本高等学校教諭)
平成18	忌 部 幹 夫 (松江市立母衣小学校長)	山 崎 滋 (松江市立乃木小学校長)	濱 田 哲 男 (海士町立海士小学校長)
	三 成 重 雄 (出雲市立平田中学校長)	佐 藤 健 (横田高等学校長)	月 森 宏 (松江商業高等学校長)
	錦 織 正 実 (松江工業高等学校教諭)	宮 本 照 孝 (出雲工業高等学校教諭)	持 田 清 道 (大社高等学校佐田分校教諭)
	山 本 和 男 (三刀屋高等学校教諭)		
	安 部 隆 (奥出雲町立横田小学校長)	富 田 績 (隠岐の島町立都万中学校長)	金 本 廣 (浜田市立第一中学校長)
平成19	小 田 泰 史 (隠岐の島町立西郷南中学校長)	波 田 求 (益田市立美都中学教諭)	金 子 司 (邑南町立瑞穂中学校長)
	岡 隆 夫 (江津市立江津中学校長)	小 村 道 夫 (出雲商業高等学校教諭)	大 西 和 幸 (松江南高等学校教諭)
	勝 田 美 鈴 (浜田高等学校今市分校教諭)	福 田 悟 (松江工業高等学校定時制教諭)	曾 田 幹 雄 (出雲高等学校定時制教諭)
	足 立 眞 司 (斐川町立西野小学校長)	瀧 川 純 一 (益田市立鎌手小学校長)	八 束 義 夫 (大田市立島井小学校長)
平成20	井 上 充 (松江北高等学校通信制教諭)	田 中 利 徳 (江津高等学校長)	祝 部 寛 行 (浜田商業高等学校教諭)
	山 根 耕 二 (出雲商業高等学校教諭)		
平成21	木 次 勝 義 (出雲市立高松小学校長)	玉 木 和 利 (西ノ島町立浦郷小学校長)	野 津 和 夫 (松江市立母衣小学校長)
	升 田 実 範 (安来市立十神小学校長)	若 林 富 治 (隠岐の島町立中条中学校長)	神 谷 進 (松江市立第二中学校長)
	柴 田 和 治 (益田市立高津中学校長)	飯 塚 修 (矢上高等学校長)	伊 藤 寛 明 (江津工業高等学校教諭)

年 度	受 賞 者		
平成22	山 口 克 秀 (隠岐の島町立有木小学校長)	青 木 茂 (元斐川町立西中学校教頭)	大 森 栄 二 (東出雲町立東出雲中学校長)
	竹 岡 純 一 (元益田市立益田東中学校長)	宮 本 輝 雄 (松江市立第二中学校長)	石 田 和 也 (松江農林高等学校長)
	大 畑 勘 市 (江津清和養護学校長)		
平成23	玉 野 桂 子 (松江市立川津小学校教頭)	安 藤 文 雄 (松江市立湖北中学校教頭)	宮 本 夏 子 (松江市立鹿島中学校長)
	赤 名 磨 差 己 (松江西高等学校教諭)	井 上 和 朋 (平田高等学校長)	岩 本 仁 志 (浜田高等学校教諭)
	奥 川 恵 (隠岐高等学校長)	平 井 芳 樹 (松江農林高等学校教諭)	
平成24	宇 野 和 福 (海士町立海士小学校長)	安 田 隆 司 (大田市立大田小学校教頭)	藤 村 昇 (松江市立八雲中学校長)
	山 藤 哲 夫 (益田翔陽高等学校長)	島 田 正 大 (出雲農林高等学校)	塚 田 幸 司 (出雲工業高等学校長)
平成25	神 門 三 郎 (松江市立玉湯小学校長)	森 下 孝 生 (浜田市立石見小学校長)	花 原 良 治 (出雲市立第一中学校長)
	伊 藤 道 也 (出雲市立第三中学校長)	秋 風 光 規 (大田市立第一中学校長)	久 家 功 (大田市立第二中学校長)
	高 木 弘 伸 (大社高等学校長)	清 井 高 志 (江津清和養護学校長)	目 次 寿 明 (三刀屋高等学校教諭)
平成26	檜 谷 卓 夫 (浜田市立石見小学校長)	濱 岡 繁 人 (江津市立江津中学校長)	船 木 進 (浜田市立第四中学校長)
	持 田 剛 (出雲市立多伎中学校長)	太 田 千 裕 (出雲西高等学校教諭)	井 上 昇 (平田高等学校教諭)
	齋 藤 隆 (浜田水産高等学校教諭)	山 崎 英 夫 (浜田高等学校教諭)	
平成27	青 木 敏 章 (出雲市立今市小学校長)	安 藤 賢 一 (大田市立久屋小学校長)	永 島 愛 子 (元 松江市立揖屋小学校教諭)
	福 井 昭 二 (安来市立広瀬小学校長)	吉 松 志 保 (益田市立桂平小学校長)	高 橋 宏 幸 (益田市立真砂中学校長)
	福 田 政 隆 (浜田市立第一中学校長)	新 田 均 (島根中央高等学校教諭)	俵 芳 徳 (島根中央高等学校教諭)
	花 本 茂 人 (松江清心養護学校教頭)		
平成28	小 川 豊 (浜田市立長浜小学校長)	長 尾 憲 道 (松江市立本庄小学校長)	加 納 幸 治 (雲南市立吉田中学校教諭)
	上 代 裕 一 (松江市立第二中学校長)	太 田 雅 巳 (江津工業高等学校教諭)	永 井 宏 尚 (安来高等学校教諭)
	藤 本 数 章 (横田高等学校長)	宮 本 善 行 (津和野高等学校長)	
平成29	加 藤 紀 子 (安来市立社日小学校教諭)	黒 見 ひとみ (松江市立美保関小学校教諭)	手 島 勇 人 (松江市立川津小学校教諭)
	秀 浦 眞 吾 (益田市立安田小学校長)	星 野 幸 雄 (雲南市立三刀屋小学校長)	松 本 泰 治 (出雲市立北陽小学校長)
	高 野 正 次 (出雲市立斐川西中学校長)	渋谷 憲 朗 (益田市立高津中学校長)	津 田 陽 一 (松江市立東出雲中学校長)
	伊 藤 浩 (松江農林高等学校教諭)		
平成30	倉 橋 宣 (飯南町立赤名小学校教諭)	曾 田 三智子 (松江市立母衣小学校教諭)	田 中 智香子 (大田市立久屋小学校教頭)
	鳥 居 正 嗣 (浜田市立原井小学校長)	飯 島 仁 (邑南町立羽須美中学校長)	石 倉 一 男 (松江市立第四中学校教諭)
	酒 井 謙 司 (松江市立第一中学校教諭)	野 津 浩 一 (松江市立湖南中学校教頭)	房 野 登志裕 (益田市立益田中学校長)
	前 田 慈 史 (益田市立匹見中学校長)	川 瀬 祐 悦 (松江市立八束学園教頭)	

年 度	受 賞 者		
令和元	客 野 智 (安来市立赤江小学校長)	広 中 郁 美 (津和野町立青原小学校長)	杠 憲 司 (安来市立荒島小学校教諭)
	児 島 史 朗 (奥出雲町立横田中学校教頭)	廣 田 英 資 (雲南市立大東中学校教頭)	藤 原 伊 世 (雲南市立大東中学校教諭)
	吉 田 隆 一 (雲南市立加茂中学校教諭)	梶 谷 朱 美 (島根県立大学短期大学部教授)	
令和2	三 浦 秀 人 (浜田市立国府小学校長)	長 野 史 明 (雲南市立掛合中学校長)	永 海 和 幸 (隠岐の島町立五箇中学校長)
	渡 部 律 夫 (美郷町立大和中学校長)	井 筒 秀 明 (隠岐島前高等学校長)	
令和3	小 田 公 弘 (江津市立江津東小学校長)	持 田 健 司 (松江市立朝酌小学校長)	木 村 裕 幸 (江津市立青陵中学校長)
	白 根 誠 治 (奥出雲町立仁多中学校長)	来 田 良 博 (飯南高等学校教諭)	

全国及び島根県学校表彰受賞校一覧（昭和35年～63年）

		全国学校体育研究優良校		島根県保健体育優良学校		
昭35	1960			・佐田村立須佐西小 ・羽須美村立口羽小	・安来市立島田小 ・伯太町立伯太中 ・出雲市立四格小 ・出雲市立第四中	6
昭36	1961	・佐田村立須佐西小	1	・松江市立母衣小 ・多伎町立多岐中	・出雲市立今市小 ・浜田市立第一中 ・松江市立秋鹿中	5
昭37	1962	・松江市立母衣小 ・多伎町立多伎中	2	・松江市立乃木小 ・海士村立崎小	・出雲市立高浜小 ・平田市立旭丘中 ・益田市立高津小	5
昭38	1963	・松江市立乃木小	1	・斐川町立八雲中	・大社町立荒木小 ・松江市立雑賀小	3
昭39	1964	・松江市立雑賀小 ・斐川町立八雲中	2	・斐川町立出東小 ・伯太町立十年畑小	・仁多町立高田小 ・松江市立津田小	4
昭40	1965	・松江市立津田小 ・浜田市立第一中	3	・佐田村立須佐東小		1
昭41	1966	・出雲市立第二中 ・湖陵町立西小	2	・出雲市立第二中	・湖陵町立西小	2
昭42	1967	・大田市立久手中 ・浜田市立雲雀丘小	2	・松江市立竹矢小 ・西ノ島町立本郷小	・佐田村立橋波小 ・安来市立第二中 ・江津市立郷田小	2
昭43	1968	・佐田村立橋波小	1	・仁多町立亀嵩中 ・多伎町立岐久小	・松江市立川津小 ・松江市立川戸小 ・伯太町立安田小	5
昭44	1969	・多岐町立岐久小 ・仁多町立亀嵩中	2	・大社町立大社小 ・都万村立蛸木小	・松江市立白湯小 ・旭町立今市小 ・湖陵町立南小 ・仁多町立亀嵩小	6
昭45	1970	・大社町立大社中 ・江津市立郷田小	2	・斐川町立荏原小 ・仁多町立仁多中布勢校舎	・西郷町立加茂小	3
昭46	1971	・斐川町立荏原小 ・仁多町立仁多中布勢校舎	2	・木次町立斐伊小 ・江津市立津宮小	・出雲市立川跡小 ・浜田市立長浜小 ・浜田市立第四中	5
昭47	1972	・出雲市立川跡小 ・浜田市立第四中	2	・平田市立東小 ・益田市立真砂小	・鹿島町立講武小 ・出雲市立神戸川小 ・出雲市立河南中	5
昭48	1973	・木次町立斐伊小 ・出雲市立河南中	3	・横田町立馬木小 ・大田市立大代小	・広瀬町立西比田小 ・斐川町立西野小 ・温泉津町立湯里小	5
昭49	1974	・出雲市立神戸川小 ・横田町立馬木小	3	・松江市立第三中 ・美保関町立千酌小	・広瀬町立比田中 ・佐田町立佐田中 ・掛合町立多根小	5
昭50	1975	・美保関町立千酌小 ・佐田町立佐田中	3	・伯太町立安田小 ・松江市立本庄小 ・出雲市立稗原小	・島根町立大芦小 ・安来市立安来小 ・広瀬町立広瀬小 ・吉田村立吉田小民谷分校	7
昭51	1976	・松江市立本庄小 ・掛合町立多根小	2	・大用町立久野小 ・益田市立豊川小	・金城町立金城中 ・出雲市立稗原小 ・安来市立宇賀荘小 ・出雲市立神西小	6
昭52	1977	・出雲市立神西小 ・西郷町立加茂小	2	・大田市立川合小	・羽須美村立阿須那小	2
昭53	1978	・大田市立川合小 ・安来市立宇賀荘小	2	・美保関町立美保関小	・多伎町立田儀小 ・邑智町立浜原小	3
昭54	1979	・羽須美村立阿須那小 ・出雲市立稗原小	3	・多伎町立田儀小		1
昭55	1980	・仁多町立布勢小 ・平田市立平田小 ・西ノ島町立西ノ島中	3	・西ノ島町立西ノ島中 ・佐田町立窪田小	・平田市立平田小	3
昭56	1981	・佐田町立窪田小 ・金城町立金城中	2	・平田市立灘分小	・横田町立横田小	2
昭57	1982	・平田市立灘分小 ・斐川町立斐川西中	3	・江津市立郷田小 ・赤来町立赤名小	・玉湯町立玉湯小 ・伯太町立赤屋小 ・斐川町立斐川西中	5
昭58	1983	・玉湯町立玉湯小 ・伯太町立赤屋小	3	・江津市立江津東小 ・平田市立佐香小		2
昭59	1984	・江津市立江津東小 ・平田市立佐香小	2	・仁摩町立仁摩小		1
昭60	1985	・仁摩町立仁摩小	1	・平田市立久多美小 ・金城町立久佐小		2
昭61	1986	・平田市立久多美小 ・金城町立久佐小	2	・平田市立西田小		1
昭62	1987	・日原町立日原小 ・平田市立西田小	2	・石見町立石見東小 ・西郷町立有木小	・日原町立日原小 ・安来市立島田小	4
昭63	1988	・石見町立石見東小 ・西郷町立有木小	3	・安来市立赤江小	・出雲市立乙立小 ・海士町立海士中	3
		全国表彰校（昭和35～63年）	61	県表彰校（昭和35～63年）		104

全国及び島根県学校表彰受賞校一覧（平成元年～30年）

		全国学校体育研究優良校		島根県保健体育優良学校	
平元	1989	・安来市立赤江小 ・海士町立海士中	3	・美都町立都茂小	1
平2	1990	・美都町立都茂小 ・出雲市立今市小	2	・出雲市立長浜小	1
平3	1991	・出雲市立長浜小	1	・宍道町立来待小 ・赤来町立来島小	2
平4	1992	・宍道町立来待小	1	・旭町立今市小	1
平5	1993	・旭町立今市小	1	・西ノ島町立浦郷小 ・五箇村立五箇小	2
平6	1994	・西ノ島町立浦郷小	1	・松江市立第二中	1
平7	1995	・赤来町立来島小 ・松江市立第二中	2	・浜田市立国府小 ・六日市町立六日市中	2
平8	1996	・浜田市立国府小 ・六日市町立六日市中	2	・浜田市立周布小 ・西郷町立西郷南中	3
平9	1997	・浜田市立周布小 ・西郷町立西郷南中	2	・横田町立八川小 ・松江市立母衣小	2
平10	1998	・横田町立八川小 ・松江市立母衣小	2	・松江市立生馬小 ・斐川町立斐川東中 ・松江市立大庭小 ・伯太町立伯太中 ・県立江津高校	5
平11	1999	・松江市立大庭小 ・斐川町立斐川東中	3	・八束町立八束小 ・益田市立安田小	2
平12	2000	・益田市立安田小	1	・横田町立島上小 ・浜田市立第三中	2
平13	2001	・横田町立島上小 ・浜田市立第三中（文部科学大臣賞）	2	・多伎町立田儀小 ・広瀬町立布部中	2
平14	2002	・多伎町立田儀小 ・広瀬町立布部中	2	・弥栄村立弥栄小 ・益田市立横田中	2
平15	2003	・弥栄村立弥栄小 ・益田市立横田中	2	該当なし	0
平16	2004	該当なし	0	・大田市立第一中 ・西ノ島町立美田小 ・西ノ島町立黒木小 ・西ノ島町立浦郷小	5
平17	2005	・出雲市立田儀小（文部科学大臣賞） ・大田市立富山小	2	該当なし	0
平18	2006	該当なし	0	・安来市立飯梨小	1
平19	2007	・安来市立飯梨小	1	・大田市立大田小	1
平20	2008	・大田市立大田小	1	・松江市立来待小 ・津和野町立日原小 ・松江市立本庄中	3
平21	2009	・松江市立来待小	1	・出雲市立佐香小学校 ・島根大学附属幼・島根大学附属小 ・島根大学附属中	4
平22	2010	・島根大学附属幼・島根大学附属小 ・島根大学附属中	3	・海士町立海士中学校 ・斐川町立斐川西中学校	2
平23	2011	・海士町立海士中学校	1	・雲南市立寺領小学校	1
平24	2012	・雲南市立寺領小学校	1	・松江市立八雲中学校	1
平25	2013	・松江市立八雲中学校	1	・松江市立島根小学校 ・江津市立江津中学校	2
平26	2014	・松江市立島根小学校 ・江津市立江津中学校	2	・大田市立第一中学校 ・浜田市立岡見小学校	2
平27	2015	・大田市立第一中学校 ・浜田市立岡見小学校	2	・出雲市立久多美小学校	1
平28	2016	・出雲市立さくら小学校	1	・松江市立母衣小学校	1
平29	2017	・松江市立母衣小学校	1	該当なし	0
平30	2018	該当なし	0	・飯南町立赤名小学校 ・西ノ島町立西ノ島小学校	2
		全国表彰校（平成元～30年）	44	県表彰校（平成元～30年）	54

全国及び島根県学校表彰受賞校一覧（令和元年～）

		全国学校体育研究優良校		島根県保健体育優良学校	
令元	2019	・飯南町立赤名小学校 ・西ノ島町立西ノ島小学校	2	該当なし	0
令2	2020	該当なし	0	・吉賀町立六日市小学校	1
令3	2021	・吉賀町立六日市小学校	1	該当なし	0
		全国表彰校（令和元年～）	3	県表彰校（令和元年～）	1
		全国表彰校（昭和35年～）	108	県表彰校（昭和35年～）	159

島根県学校体育研究連合会規約

- (名称及び事務局)
- 第1条 本会は、島根県学校体育研究連合会と称し、事務局を、松江市殿町1番地 島根県教育庁保健体育課内に置く
- (目的)
- 第2条 本会は、学校体育に関する研究を推進するとともに、学校教育研究団体の連絡提携を図り、本県の学校体育の振興に寄与することを目的とする。
- (事業)
- 第3条 本会は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。
- (1) 学校体育団体の育成と相互の連絡提携
- (2) 保健体育優良校及び保健体育功労者の推薦
- (3) 学校体育団体に関する講習会、研究会の開催
- (4) その他目的達成のために必要と認める事業
- (組織)
- 第4条 本会は、小学校及び中学校の市郡学校体育研究の組織、高等学校保健体育研究会、大学・高等専門学校・短期大学及びダンス研修部会をもって組織する。
- (役員)
- 第5条 本会に次の役員を置く。
- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 若干名
- (3) 理事 若干名
- (4) 監事 2名
2. 役員は、評議員会において選出する。
- 第6条 会長は、本会を代表し会務を統括する。
2. 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、あらかじめ会長の指名した副会長がその職務を代理する。
3. 理事は、会長、副会長とともに理事会を構成し本会の業務を執行する。
4. 監事は、会計を監査する。
- 第7条 役員の任期は2か年とし、再任することができる。
2. 補欠役員の任期は、前任者の残任期間とする。
3. 役員は、その任期満了後でも、後任者が就任するまでは、なお、その職務を行う。
- (評議員)
- 第8条 本会に、評議員を置く。
2. 評議員は、評議員会を構成し、この規約に定めるもののほか、本会の重要事項を審議し決定する。
3. 評議員は、第4条の各単位組織の代表をもって充てる。
4. 評議員が役員に選任された当該単位組織は、別に評議員を選出することができる。
- (顧問及び参与)
- 第9条 本会に、顧問及び参与を若干名置くことができる。
2. 顧問及び参与は、評議員会の推薦を経て会長が委嘱する。
3. 顧問及び参与は、重要事項に関して会長の諮問に応ずる。
- (会議)
- 第10条 本会の会議は、評議員会及び理事会とし、会長が必要に応じてこれを召集する。
2. 評議員会及び理事会の定足数は、2分の1以上とし、議事は、出席した構成員の過半数をもって決する。
- (経費)
- 第11条 本会の経費は、負担金、寄付金、その他をもって充てる。
- (会計年度)
- 第12条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。
- (事務局及び職員)
- 第13条 本会の事務を処理するために事務局を置き、事務局に事務局長その他の必要な職員（以下「事務局職員」という。）を置くことができる。
2. 事務局職員は、会長が指名または委嘱する。
- (規約の変更)
- 第14条 この規約は、評議員会において、3分の2以上の同意を得て変更し、または廃止することができる。
- (委任)
- 第15条 この規約に定めるもののほか、本会の運営に必要な事項は会長が定める。

- 付 則
1. 本規約は、昭和47年4月1日から施行する。
2. 本規約は、昭和63年5月24日一部改正、昭和63年4月1日から適用する。
3. 本規約は、平成4年5月26日一部改正、平成4年4月1日から適用する。
4. 本規約は、平成26年5月30日一部改正、平成26年4月1日から適用する。

令和3年度 島根県学校体育研究連合会役員

役 職		氏 名	勤 務 先 ・ 職 名
会 長		矢 田 誠 司	松江市立本庄小学校：校 長
副 会 長	大学高専・高校・ダンス研修	松 岡 祐 子	出雲市立稗原小学校：校 長
	出雲部代表理事	加 藤 潮	安来市立島田小学校：校 長
	石見・隠岐部代表理事	寺 戸 淳	益田市立小野中学校：校 長
	保健体育課	舟 木 勝 宏	県教育庁保健体育課：課 長
理 事	大 学 ・ 高 専	原 丈 貴	島根大学教育学部：准教授
	高 等 学 校	井 筒 秀 明	隠岐島前高等学校：校 長
	ダ ン ス 研 修 部	松 岡 祐 子	出雲市立稗原小学校：校 長
	松 江 管 内	加 藤 潮	安来市立島田小学校：校 長
	出 雲 管 内	嘉 儀 純 哉	雲南市立三刀屋中学校：校 長
	浜 田 管 内	木 村 裕 幸	江津市立青陵中学校：校 長
	益 田 管 内	寺 戸 淳	益田市立小野中学校：校 長
	隠 岐 管 内	藤 田 宏	隠岐の島町立都万中学校：教 頭
事 務 局 員	保 健 体 育 課	小 倉 庸 二	県教育庁保健体育課：G L
	松 江	矢 田 誠 司	松江市立本庄小学校：校 長
	安 来	加 藤 潮	安来市立島田小学校：校 長
	出 雲	三 原 國 彦	出雲市立伊野小学校：校 長
	雲 南	嘉 儀 純 哉	雲南市立三刀屋中学校：校 長
	仁 多	松 本 茂	奥出雲町立三成小学校：校 長
	飯 石	和 泉 雅 史	飯南町立頓原小学校：校 長
	浜 田	岡 田 憲 明	浜田市立美川小学校：校 長
	大 田	小 松 原 弘 之	大田市立朝波小学校：校 長
	江 津	木 村 裕 幸	江津市立青陵中学校：校 長
	邑 智	大 地 本 央 仁	川本町立川本小学校：校 長
	益 田	寺 戸 淳	益田市立匹見中学校：校 長
	鹿 足	岡 本 博	吉賀町立七日市小学校：校 長
	隠 岐	藤 田 宏	隠岐の島町立都万中学校：教 頭
	高 校	井 筒 秀 明	隠岐島前高等学校：校 長
	大 学 高 専	原 丈 貴	島根大学教育学部：准教授
	ダ ン ス 研 修	松 岡 祐 子	出雲市立稗原小学校：校 長
監 事		松 本 茂	奥出雲町立三成小学校：校 長
		和 泉 雅 史	飯南町立頓原小学校：校 長
事 務 局 長		江 角 貴 人	県教育庁保健体育課：指導主事
事 務 局 員		伊 藤 広 志	県教育庁保健体育課：企画幹
		沖 田 憲 彦	県教育庁保健体育課：指導主事
		宮 本 正 孝	県教育庁保健体育課：指導主事
		吉 田 理 知	県教育庁保健体育課：指導主事

令和3年度 島根県学校体育研究連合会事業報告

事業種別	事 業 名	期 日	場 所
会 議	第1回理事・評議員会 (1)事業・決算報告 (2)役員改選 (3)事業計画・予算案審議 (4)連絡事項 ①全国学体連優良校・功労者表彰 ②県保健体育功労者表彰 ③「島根の学校体育」の発刊 ④全国学校体育研究大会	5月12日(水)	松江市 島根県民会館
審 査 会	全国保健体育優良校 及び全国・県保健体育功労者審査	6月16日(水)	教育庁 教育委員室
研 修 会	第56回県学校ダンス指導者研修会	7月30日(金)	松江市 鹿島総合体育館
大 会	第60回全国学校体育研究大会	12月15日(水)～22日(水)	愛媛県松山市 他
		コロナウイルス感染症のため誌上・web開催	
表 彰 式	島根県保健体育功労者表彰式	11月12日(金)	サンラポーむらくも
機関誌発行	「島根の学校体育」第44号 ※担当：大田市	令和4年3月 発刊予定	

令和4年度 島根県学校体育研究連合会事業予定

事業種別	事 業 名	期 日	場 所
会 議	第1回理事・評議員会 (1)事業・決算報告 (2)役員改選 (3)事業計画・予算案審議 (4)連絡事項 ①全国学体連優良校・功労者表彰 ②県保健体育功労者表彰 ③「島根の学校体育」の発刊 ④全国学校体育研究大会	5月下旬	松江市
審 査 会	全国保健体育優良校 及び全国・県保健体育功労者審査	6月下旬	松江市
研 修 会	第57回県学校ダンス指導者研修会	7月29日(金)	浜田市
大 会	第61回全国学校体育研究大会	11月10日(木), 11日(金)	滋賀県大津市 他
表 彰 式	島根県保健体育功労者表彰式	11月中旬	松江市
機関誌発行	「島根の学校体育」第45号 ※担当：江津市	令和5年3月 発刊予定	

第61回全国学校体育研究大会 滋賀大会

大会主題

「豊かなスポーツライフの実現を目指した、子どもたちの
発達段階に応じた系統的な体育・保健体育学習の充実」



びわ湖フローティングスクール

学習船「うみのこ」：滋賀県の小学5年生が乗船するびわ湖の学習船です。

令和4年
11月10日(木)・11日(金)

主催：スポーツ庁 公益財団法人日本学校体育研究連合

共催：滋賀県教育委員会
大津市教育委員会 草津市教育委員会

主管：第61回全国学校体育研究大会滋賀大会実行委員会

滋賀大会実行委員会事務局
(滋賀県教育委員会事務局保健体育課内)
〒520-8577 滋賀県大津市京町4丁目1-1
TEL (077) 528-4627
FAX (077) 528-4955

大会趣旨

これからの時代を生きる子供たちが、明るく豊かで活力ある生活を営むためには、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現することが重要である。これに向けて平成29・30年告示の学習指導要領では、児童生徒が身に付けるべき資質・能力を「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の三つの柱で整理し、その内容等の改善が図られた。加えて児童生徒が体育・保健の「見方・考え方」を働かせながら学びを進められるように指導を改善すること、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進することが示された。令和3年度までには、幼稚園・小学校・中学校・特別支援学校の小学部・中学部においては学習指導要領（幼稚園は幼稚園教育要領）が全面实施され、令和4年度は、高等学校と特別支援学校高等部においても年次進行で開始され、全ての校園種において実施される年であり、その趣旨を踏まえ、指導内容の系統性を重視したより質の高い体育・保健体育学習の展開とその共有が求められる時期だといえる。

滋賀県では、学習指導要領の趣旨の実現を目指して、昭和36年（1961年）から小・中・高に研究指定校を設定し、積極的な授業研究を行ってきた。毎年、「滋賀県学校体育研究発表大会」での発表を通して、その成果の共有を継続している。各校種において、指導と評価の一体化を図った単元計画を作成することの重要性について共通理解が進んだことは、その成果の一つといえる。さらに平成23年（2011年）からは特別支援学校も加わり、現在では小・中・高・特支の各校で公開授業を実施するようになり、校種を超えた授業交流を展開しているところである。

本大会では、これまでの本県における研究成果を提案し、育成を目指す資質・能力の三つの柱を幼児児童生徒が意欲的に身に付けようとする授業の在り方について検討したい。またカリキュラム・マネジメントの視点から、校園種間の接続を重視した指導内容の系統性を整理・確認し、目指すべき体育・保健体育学習の姿を追及したい。このような経緯から、本大会主題を「豊かなスポーツライフの実現を目指し、発達の段階のまとまりや系統性を踏まえた体育・保健体育学習」と設定し、公開保育・授業及び研究協議を行うものである。

11/10
木

第1日目 全体会

会場：大津市民会館 大ホール
(大津市島の関14-1)

9:30	10:40	12:10	14:00	17:00
受付	開会式	表彰式	基調報告	昼食
10:00	11:30	13:10	15:50	
			シンポジウム	特別講演

11/11
金

第2日目 分科会

会場：各公開園・学校

9:00	12:00	15:00
受付	公開保育・授業	昼食
9:30	13:00	
	研究発表・研究協議	指導・評価
		閉会式

※第2日目(分科会)の日程は、会場により多少の違いがあります。

校園種	分科会番号	会場名
幼稚園	第1分科会	大津市立平野幼稚園
小学校	第2分科会	大津市立瀬田東小学校
	第3分科会	大津市立平野小学校
	第4分科会	草津市立老上西小学校
	第5分科会	滋賀大学教育学部附属小学校
中学校	第6分科会	大津市立志賀中学校
	第7分科会	草津市立老上中学校
高等学校	第8分科会	滋賀大学教育学部附属中学校
	第9分科会	滋賀県立石山高等学校
特別支援学校	第10分科会	滋賀県立草津東高等学校
	第11分科会	滋賀県立野洲養護学校

編集後記

今年度（令和3年度）は、夏に「2020東京大会」、冬に「2022北京冬季大会」が開催され、“五輪イヤー”となりました。本来であれば、東京大会においては、世界中から選手や指導者、応援の人たちが日本を訪れ、われわれ市民も各会場やパブリックビューイングの場所、そしてテレビの前で大いに盛り上がったことでしょう。運営を支えるボランティアにも多くの方々が参加される予定でした。

しかし、新型コロナウイルス感染症の世界的感染拡大により、これほど複雑な気持ちで開会を迎えられたオリンピック・パラリンピックは過去になかったことと思います。開会式等の無観客開催には、驚きました。始まれば、日本代表の大活躍（東京大会では史上最多のメダル獲得）に、一喜一憂する気持ちも湧いてきて、われわれ市民もたくさんの元気をもらえました。今日におけるスポーツの社会的意義を再認識する「2020東京大会」でした。ただ、医療に従事される方々のことを思うと、複雑な思いだった方は少なかったと思います。

そんな中でしたが、オリンピックでの日本選手の大活躍には目を見張るものがありました。その結果は本人の努力をはじめ、指導者の関わりによって大きく左右されます。素質がありながら、途中でやめてしまう選手を見るたびに、いつもそう思います。特に日本においては、各種競技団体等の指導スタッフの貢献もありますが、その礎となる学校体育の役割がとても大きなものとなっています。それは、小体連・中体連・高体連・中学校保健体育科研究会からの報告からも伺い知ることができました。コロナ禍の中たくさんのご苦心があったことと思います。これからはますますのご発展を願っております。

この度、全国学校体育研究優良校表彰受けられた吉賀町立六日市小学校、また、全国学校体育研究功労者表彰を受賞された三浦秀人先生（浜田市立国府小学校）、永海和幸先生（県立隠岐養護学校）、井筒秀明先生（県立隠岐島前高等学校）、心よりお喜び申しあげます。技術的な指導をはじめ、メンタルに関する指導もあったからこそその結果だと考えます。よりよい体育の指導について真摯に研鑽される姿から、われわれ後進の者が学ぶべきことがたくさんありました。ぜひ後進の者に引き継いでいただきたいと思います。

数々の実践をまとめた「島根の学校体育」第44号の発刊に際しまして、全国表彰を受賞された学校や先生方、各体育連盟や研究会等から寄稿いただきましたことに心から感謝申しあげます。

終わりにになりましたが、本会会員の皆様のますますのご健勝、ご活躍を祈念して、編集後記いたします。

編集担当：大田市